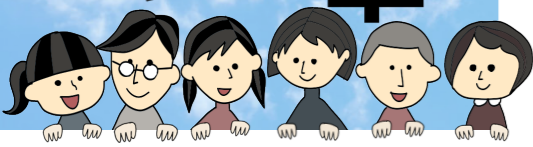


摂津スクール最前線!



毎月、市立小・中学校の取り組みや注目の人物、普段取り上げられない教育現場の舞台裏などを紹介・お知らせします。

問合せ 学校教育課へ

今月は、第二中学校の校区「二中、鳥飼北小、鳥飼西小」で行っている取り組みについて「子どもたちが自身が主役となる」をテーマに紹介します。

各学校の取り組みや市の教育の最新情報をYouTube「摂津市教育委員会チャンネル」で配信中!



第二中学校

やさしい二中をつくろう「紡ぐ」

二中学生会は「やさしい二中をつくろう」をテーマに活動しています。過去には、傘立ての設置、スロープづくりなどを行ってきました。

今期は、昼休みのボール貸し出し、挨拶運動、チャイム着席、タブレットのルール作りや過去の活動を紡いで、安全安心な二中をつくれるよう取り組んでいます。第二中学校 生徒会長



△段差解消のスロープ



△昼休みのボール貸し出し

鳥飼北小学校

学校行事で笑顔いっぱい

毎月の児童会では、北小の現状と改善点を考えて月間目標を設定し、全校集会で周知しています。「J1グランプリ(じゃんけん大会)」や「逆B1(ババ抜き大会)」など、大人も参加でき児童と教職員の誰もが楽しめ、スポットライトのあたる企画を、児童が考え取り組んでいます。

児童会の活動とおして、みんなが楽しく学校生活を送るようにしたいです!
また、学校行事を児童会が盛り上げて、笑顔いっぱいにしたいです。

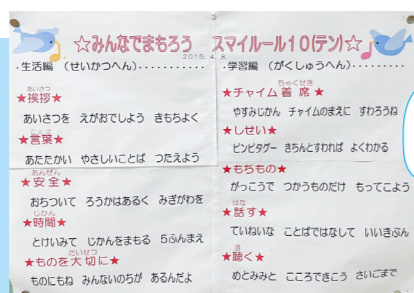


鳥飼西小学校

より良い雰囲気の学校に

西小では、10年前に作った「スマイルール10」のルールを児童会が中心となって見直しました。

児童に規範意識を育てる取り組みや学級での集団づくり・絆づくりの取り組みを進めています。



学校を良くするために考えて発表し、全校児童と一緒に取り組むことにやりがいを感じます。

「スマイルール10」で新しい合言葉を作ることをとおして、より良い雰囲気の学校になってほしいです。



私たちが受け継ぐ 先人の思い

平和公園に「摂津市原爆被害者福祉協議会設立50周年」の石碑があることを知っていますか。世界人権宣言摂津連絡会 議にも加盟し、市とともに平和に関する様々な取り組みを行ってきた同会は、52年目を迎える今年度、終止符を打ちます。同会長へこれまでの活動と、これからの思いを聞きました。



△設立40周年記念植樹 友人が横断幕作成を快諾



△50周年記念石碑はコロナ禍で開催

核兵器は要らない ずっと伝えていく

摂津市原爆被害者福祉協議会のこと

昭和46年に吹田から独立してきました。先人たちが道筋を作ってくださって。当時の私は3人の子育てに忙しく、年2回の(被爆者の)健康診断に行くくらいでした。主な活動としては、会員同士の交流、総会開催、減免制度の周知、核兵器を無くすための署名活動などです。私が会長職に就いたのは、平成22年からです。研修旅行、劇団「ひなどり」との交流、語り部への参加など、とても充実した活動ができました。会員はどんどん高齢になっており、会の存続が難しくなってきました。ここ10年間で、近隣の会が消滅していくのを目の当たりにしてきました。「残された会員の負



△杉本俊子会長

「これからの世代に伝えたいこと 核兵器は要らないですよね。そのことは、これからはずっと伝えていきます。派手な活動ができなくてもいいから、少しでもみんなの心へ届けばいいですね。会は一且解散となりますが「次の世代が、非核の思いを受け継いでいってくれたら」と願っています。そして、もし会が再結成されるのであれば、応援に駆けつけたいです。

「今までの活動を振り返ってみて関わってくださった皆さんに感謝しています。私は、助けてくださる人や、お願いごとを快く引き受けてくださる人に恵まれました。家族からの応援もありました。さらに被爆者二世と一緒に活動してきたことも誇らしいです。被爆者二世への助成制度があることは全国的にも珍しいんですよ。



△杉本さんの証言が収録されたDVDは広島平和記念資料館で視聴可